

2006. 6. 30

学生協ニュース

No.50

東 北 大 学
(学生生活協議会広報委員会)

川内北キャンパスサークル部室に対し 今年2度目の捜索が行われました

6月26日(月)午前7時2分から午前8時35分にかけて、警視庁により川内北キャンパスサークル部室G-4(川内寮問題を考える会)が、家宅捜索を受けました。これは法政大学(東京都千代田区)の敷地内で、同大の学生3名が建造物侵入の疑いで警察に逮捕(6月19日(月))されたことに関連して行われたものです。

この家宅捜索の際、本年3月23日の同室の捜索と同様に教員2名と学生1名が立会いました。その際、顔をタオルやサングラスで覆った学生や、日就寮と記されたヘルメット姿の学生ら約25名によるアジ演説、シュプレヒコール等がありましたが、幸い暴力に至る妨害行為や過激な行動へと発展することはありませんでした。

捜索については、6月27日付け河北新報夕刊に報道されています。

今回の捜索は、他大学で起きた建造物侵入事件に関連するものであり、捜索が本学のサークル活動に何ら影響を及ぼすものではありません。しかし、他大学で発生した事件のために本学が捜索を受ける事態は本学の自由を著しく損なうものであり、本学として深く憂慮しています。